



9784642079853



1921039019001

ISBN978-4-642-07985-3

C1039 ¥1900E

定価(本体1,900円+税)

吉川弘文館

私たちが「日本の伝統文化」とする風習は、
本来に古来から続くものなのか。
イエズス会士が驚いた男色・
夫婦別財などの慣習、ひな祭りや
七五三、結婚式などの
本来の姿を明らかにし、
日本固有の文化とは何かを探り出す。



菅原正子著

中世の武家と公家の「家」

一二〇七五円（5%税込） A5判・上製・カバー装・三三三頁

中世に成立した「家」とは何か。家族との関係はどのようなもので、いかなる文化を形成したのか。「家」の象徴である旗や家紋、家業の上級神職を継いだ女性や比丘尼御所の住持職、所領の運営、年中行事や人生儀礼などを通して、中世の「家」の成立やあり方を考察。武家と公家、二つの社会集団・身分階級の「家」の実態を、文化と経済の両面から解き明かす。

吉川弘文館